

溝側断横いづり滑り

東陽上村アドバンス

アングル表面に無数の突起

東陽上村アドバンス(本社・札幌)は、得意とするプレート固定式の横断側溝で、ノンスリップ仕様を開発した。アングル部分に突起加工を施し、高い滑り抵抗値を確保。国土交通省の推奨値を大きく上回り、高齢者や障害者が利用する空間でも安心して設置できる。冬場の除雪作業にも配慮した作りで、公共施設や商業施設、病院、マンションなど広く使ってもらいたい考えた。

高齢、障害者でも安心

アングル表面に無数の突起を設け、雨などでもぬれても滑りにくくした。国土省のガイドライン「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」で、滑り抵抗の推奨値を0.4以上と示しているが、同製品は乾燥状態で0.78、散水状態で0.65と大幅に上回っている。突起のない仕様と比較では約5割増しの改善効果を確認した。

突起加工は、コンクリ

ート製品の縁石や仕切石で採用している「ノスキッド加工」を応用した。スリップ防止を目的に、コンクリート表面に高さ1、2ミリの程度の突起を形成する加工方法。横断側溝に用いるため、鋼材の裏側から特殊加工機でパンチング成型して作っている。

構想から製品化までに3年がかかり、実現には鈴木鉄工所(本社・栗山)の協力が大きかったという。鋼材の曲げ加工に強みを持ち、折り曲げた角部分に傷がでないなど、製品の高品質化に大きく貢献している。

プレート固定式のため現場の設置環境に柔軟に合わせられ、ガタつきや音鳴りがしにくい特長がある。横断側溝プレート固定式のノンスリップ仕様。アングル表面に突起を設けて滑りにくくしている。

だわる空間にはステンレス製を勧めている。

アングルの外側面はU字溝を巻き込む作りなので、コンクリートと一体化し耐荷重性と耐衝撃性を確保。冬場の除雪作業での破損リスクを軽減できる。

U字溝の幅が150ミリの150型と、60ミリの超小型固定トラフの2製品をメインに展開する。どちらも十分な流量を確保しつつ、空間を邪魔しないサイズのため、マンションや商業施設などで近年多く出ているという。このほかワンサイズ大きい240型や300型についても受注対応する意向だ。

価格は滑り止め加工をしていないノーマル品に比べて約割増。公共施設や商業施設、学校、病院、公園、道路など幅広く活用してもらいたいと考えている。

同社の沢田博幸専務は「会社理念、仕事を通して幸せをともに」の下、公共に役立つ資材を供給することや地域社会の発展に貢献したいと考えている。今後も地域と一体となつてさまざまな課題にチャレンジし、より良い社会を「共創」したい」と話している。

